

低学年学級担任のための 「音楽科授業モデルプラン」

ねらい

児童が楽曲から感じ取ったことを基に、
「こう歌いたい」と思いを持って表現できるようになる
ことをねらいとして作成した教材です。

特徴

- ♪「伸ばしたい資質能力」「学習指導要領との関連」「到達目標」を簡潔に示しました。
- ♪具体的な「発問・言葉かけ」を多く取り入れたり、「試行の場」を設定したりしました。
- ♪授業の流れは「はばたく群馬の指導プラン」を基に作成しました。

構成

「教材解説シート」
「授業展開シート」
「ワークシート」
「歌詞シート」



「音楽科授業モデルプラン 教材一覧表」

- | | |
|----|-----------------|
| 1年 | No.1 「ひらいたひらいた」 |
| | No.2 「かたつむり」 |
| | No.3 「うみ」 |
| | No.4 「ひのまる」 |
| 2年 | No.1 「かくれんぼ」 |
| | No.2 「虫のこえ」 |
| | No.3 「タやけこやけ」 |
| | No.4 「はるがきた」 |



音楽指導をあまり経験したことがない、音楽指導に苦手意識を持っている、ピアノが苦手で指導用CDを伴奏に使うことが多い、そんな先生方のために作成した「授業モデルプラン」です。児童の実態あつての授業ですから、発問、言葉かけ等、あくまでも参考としてご活用ください。

各シートの内容

それぞれのシートの内容を、
ご紹介します。



教材解説シート

教材解説シート
授業モデルプラン2年 No.3「夕やけこやけ」

特に伸ばしたい
資質能力

学習指導要領
との関連

歌うことの到達目標

思いを持つこと・
試行の場の到達目標

歌詞

ワンポイント
アドバイス

はっきりにした発声で、ていねいに、
歌詞を声に出して読んでみましょう。

- 教材をイメージできます。
- 目指す児童をイメージできます。



この教材では
こういうふうに授業をす
ればいいのか…。

授業展開シート

授業展開シート
授業モデルプラン2年 No.3「夕やけこやけ」

「はばたく群馬の
授業プラン」を基
にした授業の流れ

音楽的な感受を基に
思考・判断・表現
できるような、
発問、言葉かけ

試行の場の設定

児童の意識

- ねらいに沿った授業ができます。
- 児童の思いを引き出したり、考えを
広げたりすることができます。
- 他の歌唱教材のための
「授業展開シート」（基本型）も
あります。

ワークシートと歌詞シート

ワークシートと歌詞シート
授業モデルプラン2年 No.3「夕やけこやけ」

歌詞

人物のイラスト挿入

感じたこと、思いを
吹き出しに記入

振り返り

縦書きの歌詞

- 書くことで、児童の思いが明確にな
ります。
- 書いたことを基に伝え合うこともで
きます。
- 拡大掲示して使用できます。
- 児童の思いを書き込むこともできま
す。

我が国の
伝統と文化

「歌唱共通教材」は、子どもからお年寄りまで、世代を超えて一緒に歌
うことができる素晴らしい教材です。これらの曲を歌い継いでいくこと
は、我が国のよき音楽文化を受け継いでいくうえでも大切です。

学習指導要領と
の関連

教材解説シートを見るとき
の参考にしてください。



第1学年及び第2学年の内容

A表現(1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。

- ア 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり、暗唱したりすること。
- イ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。
- ウ 自分の歌声及び発音に気をつけて歌うこと。
- エ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。

音楽科の構成

A 表現

(1)歌唱

(2)器楽

(3)音楽づくり

B

鑑賞

〔共通事項〕

表現及び鑑賞のすべての活動において共通に指導する内容

ア 音楽を形づくっている要素

(ア)「音楽を特徴付けている要素」

低学年：音色 リズム 速度 旋律 強弱 拍の流れやフレーズ

中学年：低学年で示したものに加え、音の重なり 音階や調

高学年：中学年で示したものに加え、和音の響き

(イ)「音楽の仕組み」

低学年：反復 問いと答え

中学年：低学年で示したものに加え、変化

高学年：中学年までに示したものに加え、音楽の縦と横の関係

* 歌詞、歌い方、楽器の演奏の仕方、演奏形態など

イ 音符、休符、記号や音楽に関わる用語



授業展開シート（基本型）

詳しくは、授業改善シート（基本型 留意点編）を参考にしてください。



時間	学習内容	発問・言葉かけの例
5分	○音楽学習に臨む楽しい雰囲気をつくる 常に笑顔で、明るい声で授業に臨みましょう。 タイミングのよい声かけを心がけましょう。	 本時で学習する曲を聴いたり、既習曲を歌ったり、常時活動を取り入れたりしましょう。 ♪参考「はばブラ」P96の2 常時活動を充実させるために
15分	○めあてをつかむ めあては必ず板書し、全員で声に出して確認しましょう。 ○曲の音楽的な特徴を感じ取る。どんなところから感じ取ったのかを探る 遊びながら歌ったり、歌詞に登場する人物や動物になりきって歌ったりしてみましょう。 ♪参考「はばブラ」P39 楽しく演奏する	 「めあては～です。」  「どんな様子ですか？」 「どんな気持ちですか？」 「それはどうしてですか？」 「自分の考えをペアで伝え合いましょう。」
20分	○思いを持つ 個々に持った思いを、ペアで伝え合う活動を取り入れましょう。 ○思いを共有し試行する クラスを半分にする時、座席の真ん中で分ける方法もありますが、ペアで歌う役割、聴く役割に分けて、ポイントを基に試行する方法も効果的です。	 「どんな声で歌いたいですか？」 「どれくらいの大きさがいいですか？」 「ペアで伝え合いましょう。」  「試してみましょう。」 試行の場   「どうでしたか？」 「そう聴こえましたか？」
5分	○学習のまとめをする できるようになったことや分かったことを実感できるようにしましょう。	 「～が分かりましたね。」 「～ができるようになりましたね。」

授業展開シート（基本型 留意点編）

児童が感じ取ったことを、先生の発問で引き出しましょう。時間は目安です。



時間	学習内容	留意点
5分	○音楽学習に臨む楽しい雰囲気をつくる 常に笑顔で、明るい声で授業に臨みましょう。タイミングのよい声かけを心がけましょう。	導入の5分間で、児童の緊張感をほぐしたり、休み時間や、前の授業との気持ちを切り替えたりすることもできますし、リズム遊びやハーモニー遊びなどで、基礎的な音楽技能を高めることもできます。導入5分間の積み重ねを大切にしましょう。
15分	○めあてをつかむ めあては必ず板書し、全員で声に出して確認しましょう。 ○曲の音楽的な特徴を感じ取る。どんなところから感じ取ったのかを探る 遊びながら歌ったり、歌詞に登場する人物や動物になりきって歌ったりしてみましょう。 ♪参考「はばブラ」P39 楽しく演奏する	児童一人一人が「今日は、～に気を付けて～をすればいいんだ」と、めあてをしっかりとつかめるようにしましょう。 曲を聴いて、児童が感じ取ったことを必ず問いかけましょう。児童が答えやすい、具体的でわかりやすい問いかけを心がけましょう。「どんな感じがする？」という問いに答えづらい場合には、歌詞を読み、ごっこ遊びなどで疑似体験をして「どんな様子かな？」「どんな気持ちになる？」等、問いかけ、またはいくつか例を示して選択させたり、比較対象を与えて比較したりしてもよいでしょう。児童から出された言葉はカードにして常備しておき、様々な場面で活用しましょう。 児童が直感的に感じ取って、つぶやいた言葉から、「どうしてそう思ったの？」と問いかけ、音楽を形づくっている要素との関連に気付かせましょう。
20分	○思いを持つ 個々に持った思いを、ペアで伝え合う活動を取り入れましょう。 ○思いを共有し試行する クラスを半分にする時、座席の真ん中で分ける方法もありますが、ペアで歌う役割、聴く役割に分けて、ポイントを基に試行する方法も効果的です。	感じ取ったことを基に、その感じ、様子、気持ちに合った歌い方「このように表したい」という思いを持たせましょう。 例「どんな声で歌いたいですか？」（音色の工夫） 「どれくらいの大きさがいいですか？」（強弱の工夫）等 児童から出された歌い方を、みんなで試してみましょう。 ①試すポイントを示す。 ②歌う児童、聴く児童に分ける。 試行の場 試しながら「どうだった？」「そう聴こえたかな？」と問いかけましょう。 その際「何がどうだったのか」「どんなところを聴くのか」ポイントを示しましょう。
5分	○学習のまとめをする できるようになったことや分かったことを実感できるようにしましょう。	本時のめあてを振り返り、みんなで歌って授業をしめくくりましょう。

♪教材解説シート

題材名 みんなであそびながらたのしくうたおう（全1時間予定）

第1時 れんげの花が開いたり、つぼんだりする様子を思い浮かべて、体の動きを工夫しながら歌う。

教材名 「ひらいた ひらいた」 わらべ歌

特に伸ばしたい資質・能力	学習指導要領との関連
○様子を思い浮かべて歌うこと ○拍に合わせて体を動かすこと	A表現（1）イ エ 〔共通事項〕 拍の流れ

歌うこと・思いを持つこと・試行の場の到達目標

♪歌詞の表す様子を想像して歌うことができる。
 ♪遊びながら歌うことができる。



♪「こう歌いたい」という思いを持つことができる。
 ♪自分の思いを伝えたり、友達の思いを聴いたりすることができる。



二、	一、	ひ ら い た
い っ ね な っ	い ひ れ な ひ	
っ ぼ ん ん ぼ	っ ら ん ん ら	
の ん げ の ん	の い げ の い	
ま だ の だ	ま た の た	
に と は	に と は	ひ ら い た
か は な っ	か は な ひ	
お な が ぼ	お な が ら	
ひ も が ん	っ も が い	
ら っ っ だ	ぼ っ ひ た	
い た っ ぼ	ん た ひ ら	わ ら べ 歌
た ら ぼ ん	だ ら ら い	
だ ん だ	だ い た	
だ	た	



手をつないで、輪になり、
遊びながら歌ってみましょう。



♪授業展開シート

本時のめあて：おはなのようすをうごきであらわそう

時間	学習内容	発問例・児童の反応
15分	○音楽学習に臨む雰囲気をつくる - 音楽に合わせて体を動かすような既習曲を歌う。 - 教科書は閉じておく。 「ひらいたひらいた」を聴く。 - 教科書の絵や写真で、れんげの花を確認する。	みんなで体を動かしながら歌いましょう。 これから「ひらいたひらいた」という歌を聴きます。何が開いたと歌っているのか、目を閉じて聴いてください。 何が開いたと歌っていましたか？ 「れんげの花」が開いたと歌っていました。 教科書を開きましょう。
10分	○めあてをつかむ ○歌詞内容を疑似体験する（なりきりごっこ遊び） - 手の動きで、花の開閉を表しながら範唱を聴く。 - 花の開閉のイメージをつかむ。	今日はみんなで、れんげの花が開いたり、閉じたりしてる様子を、動きで表しましょう。 歌に合わせて、開いたり、閉じたり、手を動かしてみよう。歌を覚えてきたら、歌いながらやってみよう。（個の動き） 手をつないで輪になって、歌に合わせて歩きましょう。（集団の動き） 歌と同じ速さで歩けたかな？
15分	○試行する - みんなで輪になって、歌に合わせた動きを試してみる。 - 歌に合わない動きも試してみる。 - どんな感じがするか考えてみる。	次は、みんなで手をつなぎ、輪になって、歌に合わせて、開いたり、つぼんだりしてみましょう。 「ひらいたひらいた」・・・大きな輪 「つぼんだつぼんだ」・・・小さな輪 試行の場 ♪歌に合った動きを試してみる。 ♪歌に合わない動きも試してみる。 どちらの動きがいいですか？ やっぱり、「ひらいた」の時は、動きも大きな輪に開いた方がいいなあ・・・。
5分	○学習のまとめをする みんなで試した動きで「ひらいたひらいた」を歌う。 ♪「れんげの花の様子を思い浮かべて歌えたかな？」と問いかけましょう。	では、最後にみんなで開いたり閉じたりしているれんげの花の様子を思い浮かべて、動きをつけて歌ってみましょう。 れんげの花が開いたり、閉じたりしている様子を思い浮かべながら歌ってみました。

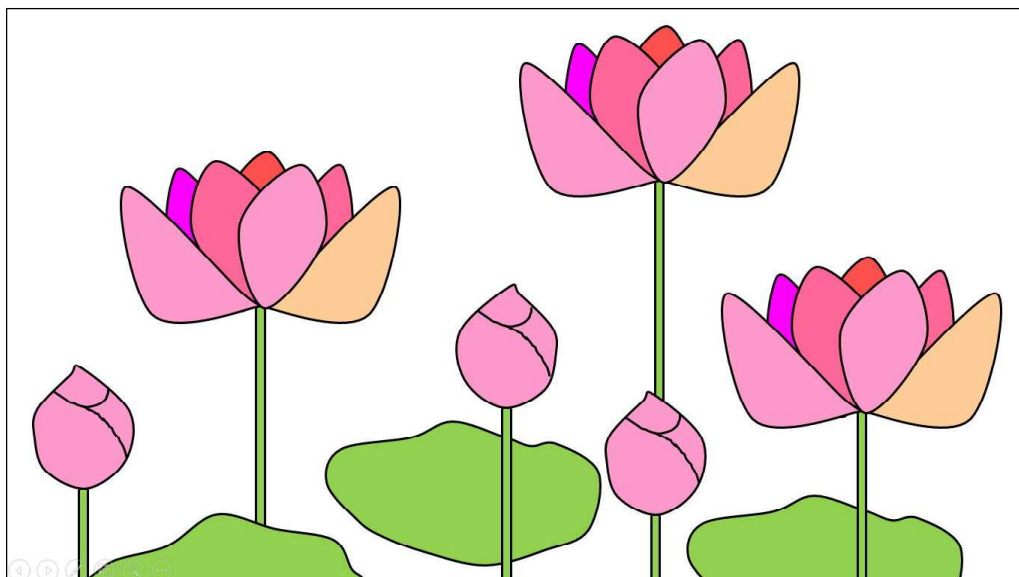
1ねん　くみ　ばん

なまえ ()

ひらいた ひらいた わらべうた

一、 ひらいた ひらいた
なんのはなが ひらいた
れんげのはなが ひらいた
ひらいたとおもったら
いつのまにか つぼんだ

二、 つぼんだ つぼんだ
なんのはなが つぼんだ
れんげのはなが つぼんだ
つぼんだとおもったら
いつのまにか ひらいた



ひらいている れんげのはなは おおきなまる、
つぼみは ちいさなまるで かこみましょう。



れんげのはなのようすを おもい
うかべて うたえましたか？



○でかこみましょう。

ひらいた ひらいた

わらべうた

一、 ひらいた ひらいた
なんのはなが ひらいた
れんげのはなが ひらいた
ひらいたと おもったら
いつのまにか つぼんだ

二、 つぼんだ つぼんだ
なんのはなが つぼんだ
れんげのはなが つぼんだ
つぼんだと おもったら
いつのまにか ひらいた

♪教材解説シート

題材名 はくのながれにのってうたおう（全1時間予定）

第1時 遅い拍の流れや速い拍の流れを、大きなかたつむりと、小さなかたつむりの様子
と関連させながら、それぞれの拍の流れにのって歌う。

教材名 「かたつむり」 文部省唱歌

特に伸ばしたい資質・能力	学習指導要領との関連
○様子を思い浮かべて歌うこと ○拍の流れにのって歌うこと	A表現（1）イ エ 〔共通事項〕 拍の流れ 速度

歌うこと・思いを持つこと・試行の場の到達目標

♪歌詞の表す情景や気持ちを
想像して歌うことができる。
♪友達の声や伴奏を、よく聴
きながら歌うことができる。



♪「こう歌いたい」という思いを持
つことができる。
♪自分の思いを伝えたり、友達の思
いを聴いたりすることができる。



二、	一、
めつどおかで	かで
だのこまたん	かたつで
まにえのり	つむり
だせあるめ	おまへのあ
せやりだま	たまたは
だせ	おしおし

か
た
つ
む
り

文
部
省
唱
歌

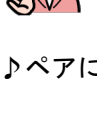


拍の流れにのって、
体を動かしながら歌ってみてもいいですね。



♪授業展開シート

本時のめあて：はくのながれにのってうたおう

時間	学習内容	発問例・児童の反応
10分	○音楽学習に臨む雰囲気をつくる 拍を感じながら、名前を呼ばれたら返事をしたり、食べ物の名前を使ったりした「なまえあそび」をする。	 先生が打つ拍に合わせて手を打ちながら返事をしましょう。 ○○さん・ はあい・ りんご・ ばなな・ 
15分	○めあてをつかむ ○曲の感じをつかむ - かたつむりについて知っていることを出し合う。 - 教科書を見ながら範唱を聴いて、曲のイメージをつかむ。 - 範唱に合わせて拍打ちしながら歌う。 - 曲の感じについて考える。 例：「悲しい感じ」か「元気な感じ」か選択させる。	 今日は、「かたつむり」を歌います。拍の流れのって歌いましょう。  かたつむりを見たことがありますか？ かたつむりには目や角があるのでしょうか？ 動きは速いかな？遅いかな？ ♪かたつむりについてのイメージをつかむ。  教科書を見ながら、歌を聴いてみましょう。 歌に合わせて拍打ちしましょう。  この歌は、歌っていて「悲しい感じ」がしますか？「元気な感じ」がしますか？
15分	○思いを持ち、試してみる - 元気な曲の感じに合うように、元気に歌ってみる。 (例：元気な感じ) - 遅い拍の流れや速い拍の流れなど、いくつかのパターンを、かたつむりの様子と関連させながら試してみる。 ♪先生がウッドブロックやクラベスなどで拍打ちしてあげるとよいでしょう。 「動きの遅い大きな大きなかたつむり」「ちょっと動きの速いかたつむり」「ちょうどいい大きさの中くらいの速さのかたつむり」歌いたい方を選んで歌う。	 元気な感じに合うように、元気いっぱいに歌ってみましょう。  大きな大きなかたつむりに歌いかけるように、遅い拍の流れで歌ってみましょう。  動きの速いかたつむりに歌いかけるように、ちょっと速い拍の流れで歌ってみましょう。 ♪ペアになって、一人が拍打ちを担当し、一人が歌ってみる。 ・遅い拍の流れ (大きな大きなかたつむり) ・ちょっと速い拍の流れ (動きの速いかたつむり) 等 試行の場  「大きな大きなかたつむり」「ちょっと動きの速いかたつむり」「ちょうどいい大きさのかたつむり」歌いたい方を選んで歌いましょう。 ♪選んだ理由を、問いかけてみてよい。
5分	○学習のまとめをする みんなで元気に「かたつむり」を歌う。 ♪「拍の流れにのって歌えましたか？」と問いかけましょう。	 では、最後にみんなで拍の流れにのって「かたつむり」を歌ってみましょう。 拍の流れに合わせて歌うことができたわ。いろいろな速さがあっておもしろいわね。 

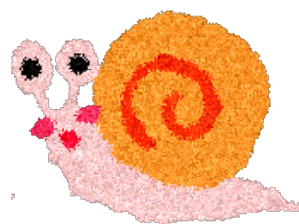
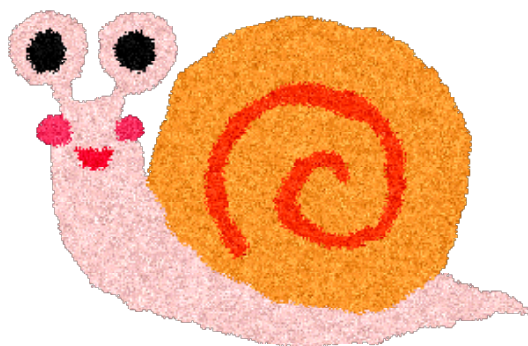
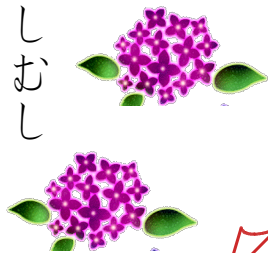
1ねん　くみ　ばん

なまえ ()

かたつおり

一、 でんでん おしおし
かたつおり
おまえの あたまは
どこに ある
つの だせ やり だせ
あたま だせ

二、 でんでん おしおし
かたつおり
おまえの めだまは
どこに ある
つの だせ やり だせ
めだま だせ


$$(\quad)$$
 $(\quad)$ 

おおきな おおきな かたつむり、うごきのはやい かたつむり、
どちらのはやさで うたいたいですか？
うたいたいほうに ○をかきましょう。



はくのながれにのって
うたえましたか？



○でかこみましょう。

かたつむり

文部省唱歌

一、 でん でん むし むし
かたつむり
おまえの あたまは
どこに ある
つの だせ やり だせ
あたま だせ

二、 でん でん むし むし
かたつむり
おまえの めだまは
どこに ある
つの だせ やり だせ
めだま だせ

♪教材解説シート

題材名 はくをかんじてうたおう（全1時間予定）

第1時 3拍子の拍の流れを感じ取り、波の動きをイメージしながら体を動かし、曲に合った歌い方を考えて歌う。

教材名 「うみ」 文部省唱歌 林 柳波（はやし りゅうは）作詞
井上武士（いのうえ たけし）作曲

特に伸ばしたい資質・能力	学習指導要領との関連
○様子を思い浮かべて歌うこと ○拍に合わせて体を動かすこと	A表現（1）イ ウ 〔共通事項〕 拍の流れ

歌うこと・思いを持つこと・試行の場の到達目標

♪歌詞の表す情景や気持ちを想像して歌うことができる。
♪自分の声に関心を持ち、ていねいに歌うことができる。



♪「こう歌いたい」という思いを持つことができる。
♪自分の思いを伝えたり、友達の思いを聴いたりすることができる。



三、	二、	一、	うみ
よ　い　う　う	つ　ゆ　あ　う	ひ　つ　お　う	
そ　っ　か　み	づ　れ　お　み	が　き　お　み	
の　て　ば　に	く　て　い　は	し　が　き　は	
	や　ど　な　お	し　の　い　な	
く　み　て　お	ら　こ　み　お	ず　ぼ　る　い	
に　たい　ふ	こ　ま　な　み	お　る　い　な	
い　な　を			

文部省唱歌
 作詞 林 柳波
 作曲 井上 武士



うたにあわせて、
からだをうごかしながらうたいましょう。

♪授業展開シート

本時のめあて：うたにあわせて、からだをうごかしながらうたおう

時間	学習内容	発問例・児童の反応
5分	○音楽学習に臨む雰囲気をつくる。 ・この後、「うみ」に合わせて歩いた時に、比較しやすいように、元気に行進できるような曲に合わせて歩く。例：「さんぽ」等	 「さんぽ」に合わせて、歩いてみましょう。  音楽が止まったら、ストップしてください。また、音楽が流れたら歩いてください。  音楽をよく聴いて歩こう。
20分	○めあてをつかむ。 ○曲の感じをつかむ。 ・「うみ」について知っていることを出し合う。 ・教科書を見ながら範唱を聴いて、曲のイメージをつかむ。 ・歌詞を読んで、言葉の意味を確認する。 ・範唱をくり返し流し、曲を聴きながら自由に体を動かす。(少しずつ歌いながら) ・歩くよりも、体を横に揺らす動きの方が合っていることに気付かせる。	 今日は、みんなで「うみ」に合わせて、体をうごかしながら歌いましょう。  「うみ」に行ったことはありますか？ 「うみ」を見たことはありますか？ 「うみ」について知っていることを発表しましょう。  教科書を見ながら、歌を聴いてみましょう。 ♪「うみ」についてのイメージをつかむ。  先生の後について歌詞を読みましょう。 分からない言葉はありますか？  「うみ」を聴きながら、自由に体を動かしましょう。 曲に合わせて歩いてもいいですよ。体を横に揺らしてもいいですよ。どちらが合っているでしょう？  何だか歩きにくいですね。横に揺れた方が合っていますね。
15分	○思いを持ち、試してみる。 ・どんな歌い方が合っているかみんなで考える。 ・「元気よく弾んだ歌い方」と「ゆったりとした波のようになめらかな歌い方」を比較する。 ♪二つの歌い方を、最初の部分だけでも、先生が歌ってみせるとよいでしょう。 ・ペアで歌ったり、聴いたりしながら、どちらの歌い方が合っているか試してみる。 ・みんなでどちらの歌い方がいいか選択する。	 では、歌い方について、どんな歌い方が合っているか、みんなで考えましょう。  元気よく弾んだ歌い方と、ゆったりとした波のようになめらかな歌い方と、どちらが合っているでしょう？歌って確かめてみましょう。 ♪ペアになって、一人が歌い、もう一人は聴き役になる。 ・元気よく弾んだ歌い方 ・波のようになめらかな歌い方 ♪交替する。 試行の場  どちらの歌い方が「うみ」に合っていると思いますか？ ゆったりとした波のようになめらかな歌い方が合っていますね。
5分	○学習のまとめをする。 ・みんなで体を横に揺らしながら「うみ」を歌う。 ♪「うみの感じに合わせて、体を揺らしながらなめらかに歌えましたか？」と問いかけましょう。	 では、最後にみんなで体を揺らしながら、なめらかな歌い方で、「うみ」を歌ってみましょう。  みんなで体を揺らしながら、なめらかに歌ったら、海の波のような感じがした。

♪ワークシート

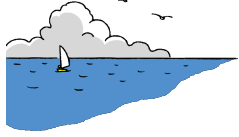
うたにあわせて、からだをうごかしながらうたおう

1ねん くみ ばん

なまえ ()

「うみ」

三、	二、	一、	うみ
うみ	うみ	うみ	
は	は	は	
ひろ	ひろ	ひろ	
い	い	い	
な	な	な	
う	う	う	
み	み	み	
は	は	は	
ひろ	ひろ	ひろ	
い	い	い	
な	な	な	
う	う	う	
み	み	み	
は	は	は	
ひろ	ひろ	ひろ	
い	い	い	
な	な	な	




どちらのうたいかたが、あっていますか？
「あっているな」と おもうほうに○をつけましょう。

げんきよく はずんだ
うたいかた

♪う・み・は・ひろ・い・な

()

ゆったりとした
なみのように
なめらかなうたいかた

♪う～み～は～ひろい～な～

()



からだをゆらしながら、
「うみ」にあったうたいかたで
うたえましたか？



○でかこみましょう

うみ

文部省唱歌

作詞 林 柳波

作曲 井上 武士

一、 うみは ひろいな
おおきいな
つきが のぼるし
ひが しずむ

二、 うみは おおなみ
あおい なみ
ゆれて どこまで
つづくやう

三、 うみに おふねを
うかばせて
いつて みたいな
よその くに

♪教材解説シート

題材名 ようすをおもいかべてうたおう（全1時間予定）

第1時 旋律の音の動きから、盛り上がりを感じ取り、曲のどの部分を盛り上げて歌いたいか考えて歌う。

教材名「ひのまる」

文部省唱歌 高野辰之（たかの たつゆき）作詞
岡野貞一（おかの ていいち）作曲

特に伸ばしたい資質能力

○曲の盛り上がりを感じ取って歌うこと

学習指導要領との関連

A表現（1） イ ウ
〔共通事項〕 旋律 リズム

歌うこと・思いを持つこと・試行の場の到達目標

♪曲の盛り上がりを感じ取って歌うことができる。
♪自分の声に関心を持ち、ていねいに歌うことができる。



♪「こう歌いたい」という思いを持つことができる。
♪自分の思いを伝えたり、友達の思いを聴いたりすることができる。



二、	一、
に あ ひ あ	に あ ひ し
ほ あ の お	ほ あ の ろ
ん ま ぞ	ん ま じ
の う ら	の う る に
つ	つ
は く あ た	は く そ あ
た し げ か	た し め か
は い て く	は い て く

ひのまる
文部省唱歌
作詞 高野辰之
作曲 岡野貞一



曲の盛り上がりを感じながら、
のびのびと歌いましょう。



♪授業展開シート

本時のめあて：もりあがるところをみつけて、のびのびうたおう

時間	学習内容	発問例・児童の反応
5分	○音楽学習に臨む雰囲気をつくる ・「リズムまねっこあそび」をする。最初は4分の4拍子1小節のリズム。続いて「ひのまる」4小節のリズムにつなげていく。	先生が叩いたリズムを真似しましょう。 「タン・タン・タン・うん」 「タン・タン・タン・うん」 「タン・タン・タン・タン・タン・タン・タン・うん」 「タン・タン・タン・タン・タン・タン・タン・うん」
20分	○めあてをつかむ ○曲の感じをつかむ ・「ひのまる」について知っていることを出し合う。 ・教科書を見ながら範唱を聴いて、曲のイメージをつかむ。 ・歌詞を読んで、言葉の意味を確認する。 ・リズム打ちをしながら歌い同じリズムがくり返されていることに気付かせる。 ・ワークシートの「ひのまる」を○で囲んでひのまるの確認する。 ・ワークシートを使用し、音の高さを確かめながら歌い一番高い音を見つける。	今日は、「ひのまる」の中で、盛り上がるところを見つけて、のびのび歌いましょう。 「ひのまる」を知っていますか？ 「ひのまる」を見たことはありますか？ 教科書を見ながら、歌を聴いてみましょう。 ♪「ひのまる」についてのイメージをつかむ。 先生の後について歌詞を読みましょう。 分からない言葉はありますか？ 「しろじ」って何だろう？ リズム打ちをしながら、歌ってみましょう。 (同じリズムがくり返されていることに気付かせる) 同じリズムがくり返されていますね。 音の高さを確かめながら、歌ってみましょう。 一番高い音はどれですか？
15分	○思いを持ち、試してみる ・どこを、一番盛り上げて歌いたいか考え、試してみる。 ・旋律線（音と音をつないだ線）が山を描き、山の頂上（音が高いところ）は、自然と気持ちも盛り上がることに気付かせる。	では、どこを一番盛り上げて（おおきく）歌いたいか考えましょう。 どこを盛り上げて歌うと「ひのまる」に合っているか、歌って試してみましょう。 試行の場 ♪クラスを半分に分けて、聴き合う。 ♪それぞれ出された「盛り上げる部分」を大きく歌ってみて、どの部分を大きく歌った「ひのまる」がいいか試してみる。
5分	○学習のまとめをする ・盛り上げるところを意識して、のびのびと歌う。 ♪「盛り上げるところを意識して、歌えましたか？」と問いかけましょう。	盛り上げるところを意識して、のびのびと歌いましょう。 「ああ」のところを、「ひのまる」に届くように、のびのびと歌いました。

♪ワークシート

もりあがるところをみつけて、のびのびうたおう

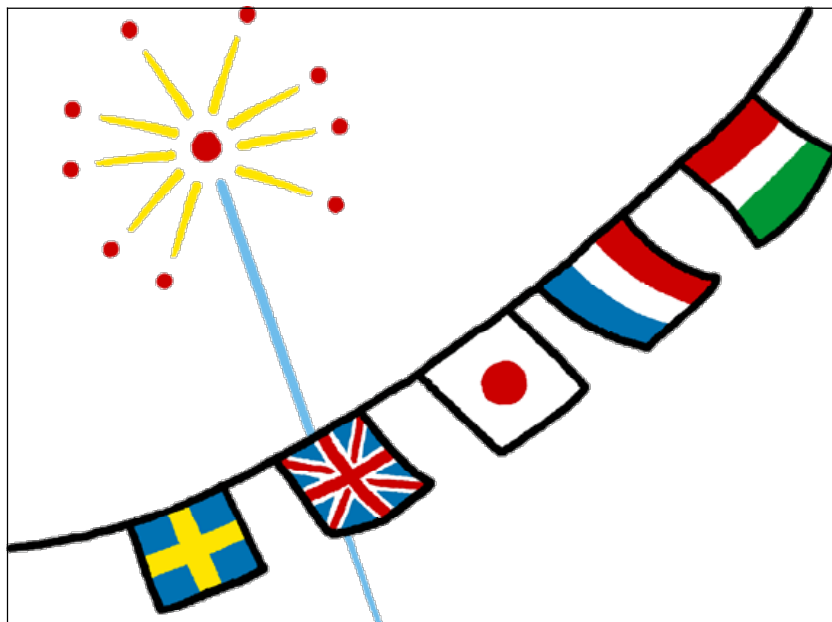
1ねん くみ ばん

なまえ ()

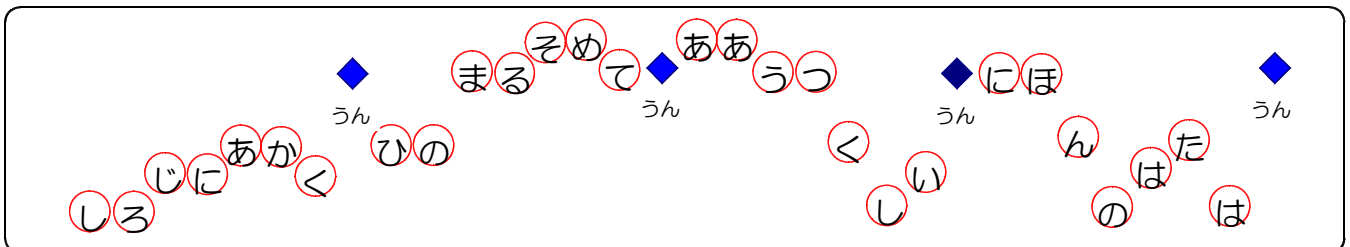
「ひのまる」



「ひのまる」はどれでしょう。
「ひのまる」を○で かこみましょう。



○を ひとつずつ ゆびでおさえて うたいましょう。
いちばんたかいおとを みつけて あかでぬりましょう。



いちばんもりあげて うたいたいところを
かこみましょう。



もりあがるところを いしきして
のびのびと うたえましたか？



○でかこみましょう

ひのまる

文部省唱歌

作詞 高野辰之

作曲 岡野貞一

一、 しろじに あかく
ひのまる そめて
ああ うつくしい
にほんのはたは

二、 あおぞら たかく
ひのまる あげて
ああ うつくしい
にほんのはたは

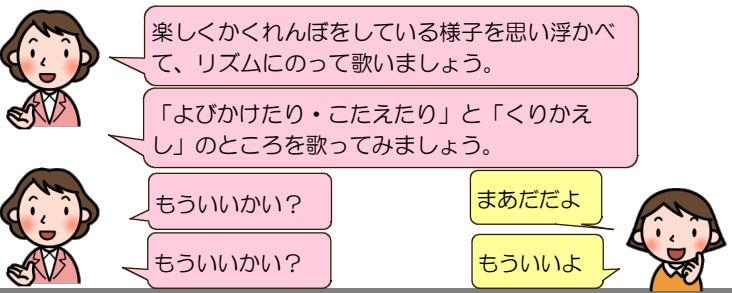
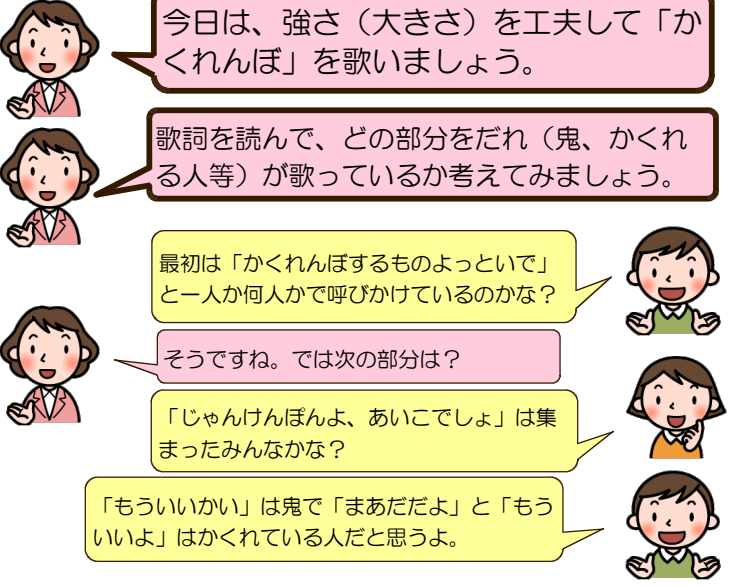
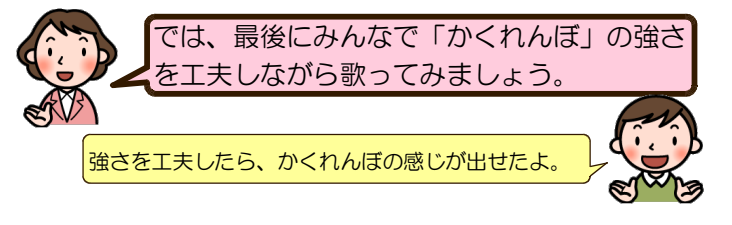
♪授業展開シート①

本時のめあて：リズムにのってうたおう

時間	学習内容	発問例・児童の意識
5分	○導入 ・「かくれんぼ」を聴く。 ・「かくれんぼ」についてイメージを膨らませる。	 これからある歌を聴きます。目を閉じて聴いてください。（聴き終わったら）何を歌っている歌ですか？  かくれんぼをしたことはありますか？
15分	○めあてをつかむ ○曲の音楽的な特徴を感じ取る ・歌詞内容を動作化する。（なりきりごっこ遊び） ・拍打ち、リズム打ちをしながら範唱に合わせて歌う。 ～かんじ	 今日は、気持ちや様子を思い浮かべて「かくれんぼ」を歌いましょう。  先生が鬼役をやります。歌に合わせて、みんなでかくれんぼの真似をしてみましょう。みんな、かくれんぼって楽しい？ 楽しい気持ちになってきたよ。  手拍子をしながら歌ってみましょう。 ①拍打ち ②歌に合わせたリズム打ち タッカタッカのリズムが沢山あるね。  タッカタッカのリズムはどんな感じですか？ 重い感じ？弾む感じ？ 象が歩いている感じ？馬が走っている感じ？ 暗い感じ？楽しい感じ？ 馬が走っているみたいな、弾んだ、楽しい感じがします。 
15分	○思いを持つ ・「どんな声で歌いたいかな」思いを持つ。 ～なこえて うたいたい ○思いを共有し試行する ・ペアで伝え合い、試してみる。 ・「どんな声で歌ったらいいか」みんなで試してみる。	 その感じを生かせるように、どんな声で歌いたいですか？ 元気な声で歌いたいです。  では、元気な声で歌ってみましょう。聴いていたみなさん、楽しい感じがしましたか？ 怒鳴っている声が聴こえました。楽しい感じを出したいから怒鳴らない方がいいと思います。  試行の場 ↻ ♪歌ってみる ↻ ♪聴いてみる
10分	○まとめ ・みんなで試した歌い方で「かくれんぼ」を歌う。 ♪「タッカタッカのリズムにのって歌えましたか」と、問いかけましょう。	 最後にみんなで「かくれんぼ」の楽しい様子を思い浮かべ、リズムにのって歌ってみましょう。 元気な声で、でも怒鳴らないで歌えたよ。 

♪授業展開シート②

本時のめあて：つよさ（大きさ）をくふうしてうたおう

時間	学習内容	発問例・児童の意識
5分	○導入 ・「かくれんぼ」を歌う。 ・先生が鬼役になって「かくれんぼ」の真似をする。	 楽しくかくれんぼをしている様子を思い浮かべて、リズムにのって歌いましょう。 「よびかけたり・こたえたり」と「くりかえし」のところを歌ってみましょう。 もういいかい？ まあだだよ もういいかい？ もういいよ
15分	○めあてをつかむ ○曲の音楽的な特徴を感じ取る ・歌詞のどの部分をだれが歌っているか、かくれんぼの真似をしながら考える。（なりきりごっこ遊び）	 今日は、強さ（大きさ）を工夫して「かくれんぼ」を歌いましょう。 歌詞を読んで、どの部分をだれ（鬼、かくれる人等）が歌っているか考えてみましょう。 最初は「かくれんぼするものよっ」といって一人か何人かで呼びかけているのかな？ そうですね。では次の部分は？ 「じゃんけんぽんよ、あいこでしょ」は集まったみんなかな？ 「もういいかい」は鬼で「まあだだよ」と「もういいよ」はかくれている人だと思うよ。
15分	○思いを持つ ・一人一人が「どの強さで歌いたいかな」思いを持つ。 ～だから（この強さ）でうたいたい ○思いを共有し試行する ・ペアで伝え合い、試してみる。 ・みんなで歌って試してみる。	 では、それぞれの部分をどんな強さで歌いたいですか？最初の部分について考えてみましょう。 「かくれんぼするものよっ」といって、みんなに呼びかけているから大きな声がいいかな？ では、大きな声で歌ってみましょう。（実際に歌ってみて）どうですか？ みんなに呼びかけている感じが出ていました。 その他の部分も考えてみましょう。 試行の場 ♪歌ってみる ♪聴いてみる
10分	○まとめ ・みんなで試した歌い方で「かくれんぼ」を歌う。 ♪「工夫した強さで歌えたか」と問いかけましょう。	 では、最後にみんなで「かくれんぼ」の強さを工夫しながら歌ってみましょう。 強さを工夫したら、かくれんぼの感じが出せたよ。

♪ワークシート①

リズムにのって うたおう

ねん 2年 くみ 組 ばん 番

「かくれんぼ」①

「もう
もう
いい
いい
よ」

「まあ
いだ
いだ
い
い」

「もう
こで
し
よ
ん
ん
よ」

「あ
い
ん
け
ん
ぽ
ん
よ」

「じ
ゃ
ん
け
ん
ぽ
ん
よ」

「よ
っ
と
い
ん
で
す
る
も
の」

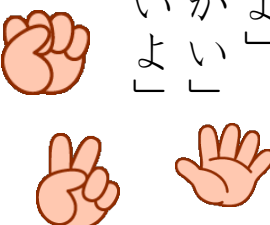
「か
く
れ
ん
ぼ
す
る
も
の」

かくれんぼ

作曲 林

作詞 下総

柳波




「タッカ タッカ」の
リズムは、どんな かんじ が
しますか？
あてはまると おもうかんじ
三つに○をつけましょう。

- () おもいかんじ
- () はずむかんじ
- () そうが あるいているかんじ
- () うまが はしっているかんじ
- () くらいかんじ
- () たのしいかんじ



どんなこえでうたったら、
その かんじ をあらわせる
とおもいますか？

なこえ



ようすやきもちを、おもい
うかべ、リズムにのって
うたえましたか？

- 1 うたえた。
- 2 あまりうたえなかった。
- 3 うたえなかった。



♪あてはまるものに○をつけましょう。

♪ワークシート②

つよさ（大きさ）をくふうして うたおう

ねん 2年 くみ 組 ばん 番

「かくれんぼ」②

もう いいよ	もう いいかい	まあだだよ	もう いいかい	じゃんけんぽんよ あいこでしょ	かくれんぼするもの よつといで

「かくれんぼ」



かしをよんで、どのぶぶんが
だれ（おに、かくれるひとなど）のことばなのか
かんがえてみましょう。



それぞれのぶぶんを、どの大きさでうたいたいか
（大・中・小）からえらんで、
□（しかく）の中にかきましょう。



大きさをえらんだら、
うたってためしてみま
しょう。

かくれんぼの かんじに
なっているかな？



くふうしたつよさで、
うたえましたか？

- 1 うたえた。
- 2 あまりうたえなかった。
- 3 うたえなかった。



♪あてはまるものに○をつけましょう。

かくれんぼ

作詞

林

柳波

作曲

下

総皖一

一

かくれんぼする もの

よっといで

じゃんけんぽんよ

あいこでしよ

「もう いいかい」

「まあだだよ」

「もう いいかい」

「もう いいよ」

♪教材解説シート

題材名 ようすをおもいうかべてうたおう（全2時間予定）

第1時 歌詞の表す様子を想像し、強さを工夫して歌う。

第2時 歌詞の表す様子を想像し、友達の歌声を聴きながら自分の声を合わせて歌う。

教材名 「虫のこえ」 文部省唱歌

特に伸ばしたい資質・能力

○様子を思い浮かべ、強さを工夫して歌うこと
○互いの歌声を聴いて、声を合わせて歌うこと

学習指導要領との関連

A表現（1）イ エ
〔共通事項〕 強弱
問いと答え

歌うこと・思いを持つこと・試行の場の到達目標

♪歌詞の表す情景や気持ちを想像して歌うことができる。
♪友達の声を聴いて、声を合わせて歌うことができる。



♪「こう歌いたい」という思いを持つことができる。
♪自分の思いを伝えたり、友達の思いを聴いたりすることができる。



虫のこえ

文部省唱歌

一、
あれ まつ虫が ないて いる
チンチロ チンチロ チンチロリン
あれ すず虫も なき出した
リンリン リンリン リンリン
あきの よながを なきとおす
ああ おもしろい 虫のこえ

二、
キリキリ キリキリ こおろぎや
ガチャガチャ ガチャガチャ つか虫
あとから うまおい おいついて
チョンチョン チョンチョン スイッチョン
あきの よながを なきとおす
ああ おもしろい 虫のこえ



歌に合わせて体を動かしながら歌ったり、気に入った虫の鳴き声を選んで歌ったりしてみてもよいですね。

♪授業展開シート①

本時のめあて：ようすを思いうかべて、つよさをくふうしよう

時間	学習内容等	発問例・児童の意識
8分	○音楽学習に臨む雰囲気をつくる ・本物の虫の鳴き声を聴く。	 これから虫の鳴き声を聴きます。 教科書の虫の写真を見ながら聴きましょう。 ♪本物の虫の鳴き声のデータがなければ、範唱を聴く。
12分	○めあてをつかむ ・「虫のこえ」についてのイメージをつかむ。 ・教科書の写真や歌詞を見ながら範唱を聴く。 ○曲の音楽的な特徴を感じ取る ・拡大した歌詞の中にある、虫の名前を確認する。 ・範唱に合わせて、虫の名前をリズム打ちする。 ・虫の鳴き声を確認する。 ・歌詞の内容(季節や時間帯)を考えながら、役割を分担して音読し、問いと答えに気付かせる。 ・分担して音読した虫の鳴き声を、範唱に合わせて歌う。	 虫の鳴き声の大きさはみんな同じでしょうか？ 遠くで鳴いている虫の声と、近くで鳴いている虫の声はどんな大きさに聞こえると思いますか？ 今日は様子に合わせて、虫の鳴き声のつよさをくふうをして「虫のこえ」を歌いましょう。  教科書の虫の写真を指さしながら、もう一回聴いてみましょう。  歌に合わせて、虫の名前の部分だけリズム打ちしましょう。 それぞれの虫の鳴き声を確認しましょう。  先生は「虫の声を聴いている人」のところを読みます。みなさんは「虫の鳴き声」を読んでください。「ああ、おもしろい」のところはみんなで読みましょう。最初の部分は呼びかけ合っているみたいですね。 音読した虫の鳴き声を、範唱に合わせて歌ってみましょう。
20分	○思いを持つ ・「虫の鳴き声」の大きさを大、中、小、それぞれのパターンで歌ってみる。 ・声の大きさや、想像した様子など指導者が例を示す。 ・虫の鳴き声をどんな強さで歌いたい選択し、選んだ理由や思い浮かべた様子をワークシートに記入する。 ○思いを共有し試行する ・強さの工夫をペアで伝え合い交互唱し、聴き合いながら試してみる。 ・学級全体で歌って試してみる。	 大・中・小、それぞれの大きさを歌ってみましょう。 ♪虫の鳴き声を小さく歌って見せて、例を示す。  今の大きさは、大・中・小のどれでしょう？ 今、鳴いていた虫の様子は「元気いっぱい虫さん達」「みんなに見つからないようにこっそり鳴いている虫さん達」どちらでしょう？  虫の鳴き声の大きさを選り、選んだ理由と、思い浮かべた様子をワークシートに書きましょう。 ペアで伝え合って、試してみましょう。 学級全体試してみましょう。 試行の場 ↻ ♪歌ってみる ♪聴いてみる 
5分	○学習のまとめをする ・それぞれが考え、試した歌い方で「虫のこえ」を歌う。 ♪歌う前に「どんな様子を思い浮かべて、どんな大きさを歌いますか？」と問いかけましょう。 ♪歌った後に「自分が選んだ声の大きさを歌えましたか？」と問いかけましょう。	 では、最後にみんなで「虫のこえ」の様子を思い浮かべながら、自分が選んだ声の大きさを歌ってみましょう。 虫たちが、楽しそうに鳴いている様子を思い浮かべながら、虫の鳴き声は中くらいの大きさを歌ってみました。 

♪授業展開シート②

本時のめあて：こえを合わせてうたおう

時間	学習内容等	発問例・児童の意識
5分	○音楽学習に臨む雰囲気をつくる ・前時に自分が選んだ、様子に合った大きさを「虫のこえ」を歌う。	 どんな様子を思い浮かべて歌いますか？ どんな大きさを歌いますか？
5分	○めあてをつかむ ・本時は、グループで分担して虫の鳴き声の大きさを考え「2年A組の虫のこえ」をみんなで声を合わせて歌うことを確認する。	 今日はグループで分担して、虫の鳴き声の大きさを考え、こえを合わせて、「虫のこえ」を歌いましょう。 ぼくのグループは「うまおい」担当だよ。みんなでこえを合わせて歌うんだね。どの大きさがいいかな？ 
25分	○思いを持つ ・グループごとに、一つの虫の鳴き声を担当し、グループのみんなで、虫の様子を想像して、声の大きさを考える。 ・虫の様子や、選んだ大きさをワークシートに記入し、発表する。 ○思いを共有し試行する ・それぞれのグループで考えた虫の様子や、声の大きさを、学級全体で共有し、友達の歌声を聴きながら、自分の歌声を合わせて歌ってみる。 ・みんなで声を合わせて歌うためには、どんなことに気を付けたらいいか考え、ワークシートに記入し、発表する。 ・児童から意見が出てこないときには、こちらから投げかける。	 それぞれのグループで担当した虫の様子や、声の大きさをグループのみんなで考えましょう。 元気いっばいの「くつわ虫」です。鳴き声の「ガチャガチャガチャガチャ」は大きな声で、みんなで声を合わせて歌ってください。  おもしろい「うまおい」です。鳴き声の「チョンチョンチョンスイッチョン」は中くらいの声で、みんなで声を合わせて歌ってください。  学級全体試してみましょう。 試行の場 ♪歌ってみる ♪聴いてみる  みんなで声を合わせて歌うためには、どんなことに気を付けたらいいのでしょうか？ 友達の声をよく聴いて、合わせようという気持ちで歌ったらいいんじゃないかな。  例) みなさんは周りの友達と声を合わせる時、耳を澄まして、よく聴いていませんか？ 
10分	○学習のまとめをする ・様子や大きさを、みんなで考えた「虫のこえ」を声を合わせて歌う。 ♪「友達の声をよく聴きながら、みんなで声を合わせて歌えましたか？」と問いかけましょう。	 友達の声を、よく聴きながら、みんなで声を合わせて歌ってみましょう。 どうでしたか？ 意識して、友達の歌声を聴くようにしました。みんなで声を合わせて歌うと楽しいな。 

♪ワークシート①

ようすをおもいうかべて、つよさをくふうしよう

ねん 2年 くみ 組 ばん 番

「虫のこえ」①

虫のこえ	文部省唱歌
一 あれ まつ虫が ないて いる	「チンチロ チンチロ チンチロリン」
あれ すぐ虫も なき出した	「リンリン リンリン リーンリン」
あきの よながを なきとおす ああ おもしろい 虫のこえ	「キリキリ キリキリ」こおろぎや
「ガチャガチャ ガチャガチャ」くつわ虫 あとから うまおい おいについて	「チョンチョン チョンチョン」 スイッチョン
あきの よながを なきとおす ああ おもしろい 虫のこえ	



「虫のこえ」のようすをあらわすためには、「虫のなきごえ」のところを、どんな大きさをうたうとよいとおもいますか？
そのりゆう（おもいうかべたようす）も かきましょう。

どの大きさがいいかな？

大 ・ 中 ・ 小

その大きさをえらんだりりゆう（おもいうかべたようす）



ようすをおもいうかべて、
じぶんが えらんだつよさで
うたうことができましたか？

- 1 できた。
- 2 あまりできなかった。
- 3 できなかった。



♪あてはまるものに○をつけましょう。

♪ワークシート②

こえを合わせてうたおう

ねん 2年 くみ 組 ばん 番

「虫のこえ」②

♪グループのみんなで、はなし合って、虫のようすや、こえの大きさをかんがえましょう。

虫の名前と なきごえ（たんとした虫に ○をつけましょう）

- () まつ虫 「チンチロチンチロチンチロリン」
 () すず虫 「リンリンリンリンリーンリン」
 () こおろぎ 「キリキリキリキリ」
 () くつわ虫 「ガチャガチャガチャガチャ」
 () うまおい 「チョンチョンチョンチョンスイッチョン」

虫のようす

大きさ（○をつけましょう）

大 ・ 中 ・ 小



虫のなきごえを、みんなでこえを合わせてうたうためには、どんなことに気をつけて、うたったらいいとおもいますか？

こえを合わせて、うたうためには・・・



友だちのこえを よくきいて、みんなと こえを合わせて、うたえましたか？

- 1 とてもよく、うたえた。
- 2 うたえた。
- 3 あまりうたえなかった。



♪あてはまるものに○をつけましょう。

虫のこえ

文部省唱歌

一、 あれ まつ虫が なくて いる
チンチロ チンチロ チンチロリン
あれ すず虫も なき出した
リンリン リンリン リーンリン
あきの よながを なきとおす
ああ おもしろい 虫のこえ

二、 キリキリ キリキリ こおろぎや
ガチャガチャ ガチャガチャ くつわ虫
あとから うまおい おいついて
チョンチョン チョンチョン
スイツチョン
あきの よながを なきとおす
ああ おもしろい 虫のこえ

♪教材解説シート

題材名 ようすやきもちをおもいうかべてうたおう（全2時間予定）

第1時 歌詞の内容を考えて、様子や気持ちを想像しながら、どのように歌いたいか思いを持って歌う。

第2時 歌詞が表している、時間の経過や様子の違いに気付き、それらにふさわしい強弱の工夫を考えて歌う。

教材名 「タやけこやけ」

中村 雨紅（なかむら うこう）作詞／草川 信（くさかわ しん）作曲

特に伸ばしたい資質・能力

○様子や気持ちを思い浮かべて、声の感じや強さを工夫して歌うこと

学習指導要領との関連

A表現（1）イ ウ
〔共通事項〕音色、強弱

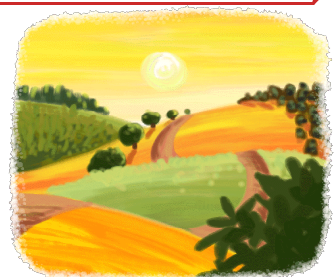
歌うこと・思いを持つこと・試行の場の到達目標

♪歌詞の表す情景や気持ちを想像して歌うことができる。
♪自分の声に関心を持ち、ていねいに歌うことができる。♪「こう歌いたい」という思いを持つことができる。
♪自分の思いを伝えたり、友達の思いを聴いたりすることができる。

金 の ほ し	空 に は き ら き ら	見 る こ ろ は	小 鳥 が ゆ め を	お 月 さ ま	ま る い 大 き な	あ と か ら は	二、 子 ど も が か え っ た	か え り ま し ょ う	か ら す と い っ し ょ に	み な か え ろ	お て つ な い で	か ね が な る	山 の お て ら の	日 が く れ て	一、 タ や け こ や け で	タ や け こ や け	作 詞 中 村 雨 紅	作 曲 草 川 信
------------------	---------------------------------	-----------------------	----------------------------	------------------	----------------------------	-----------------------	--	---------------------------------	---	-----------------------	----------------------------	-----------------------	----------------------------	-----------------------	---------------------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------



はっきりした発音で、ていねいに、歌詞を声に出して読んでみましょう。



♪授業展開シート①

本時のめあて：ようすやきもちに合ったこえでうたおう

時間	学習内容	発問・言葉かけ
5分	○音楽学習に臨む雰囲気をつくる ・「タヤケコヤケ」を聴く。	 これからある歌を聴きます。 目を閉じて聴いてください。（聴き終わったら） 何の歌だと思いますか？
20分	○めあてをつかむ ・教科書の写真や歌詞を見ながら範唱を聴く。 ・タヤケについてのイメージをつかむ。 ○一番の歌詞内容を疑似体験する （なりきりごっこ遊び） ♪先生も景色が見えるかのように、語りかけましょう。 ○曲の音楽的な特徴を感じ取る ・どういう気持ちになるか考えてワークシートに記入する。 ・ペアで交流 ○どんなところから感じ取ったのかを探る ・どうしてそういう気持ちになったのかを考えてワークシートに記入する。 ・ペアで交流	 景色を歌っている歌のようですね。 今日は様子や気持ちを思い浮かべながら、「タヤケコヤケ」の一番を歌いましょう。  タヤケを見たことはありますか？ タヤケの空は何色だと思いますか？  みんなで遊んでいたら、日が暮れてきました。 山のお寺のかねの音が聞こえてきます。 さあ、そろそろ帰らなければなりません。 みんなで手をつないで帰りましょう。 空にはからすが飛んでいます。 からすもいっしょに帰りましょう。  さあ、どんな気持ちだと思いますか？ ちょっとさみしいきもちかな・・・  どうしてそう思いましたか？ もっと遊んでいたけれど、友だちとさよならしないといけないから・・・。 
15分	○思いを持つ ・どんな声で歌いたいか思いを持つ。 ♪いくつかの歌い方（声）を例示してもよいでしょう。 ○思いを共有し試行する ・ペアで交流 ・いくつかの歌い方をみんなで試してみる。	 どんな声で歌ったら、その気持ちを表せると思いますか？  試行の場 ♪歌ってみる → ♪聴いてみる ♪クラスを半分に分けて、聴き合う。
5分	○学習のまとめをする ・みんなで試した歌い方で「タヤケコヤケ」の一番を歌う。 ♪「様子や気持ちを思い浮かべて、自分が選んだ声で歌えたかな？」と問いかけましょう。	 では、最後にみんなで様子や気持ちを思い浮かべながら「タヤケコヤケ」を歌ってみましょう。 オレンジ色のタヤケを思い浮かべながら、やさしい声で歌ってみたよ。 

♪授業展開シート②

本時のめあて：つよさをくふうしてうたおう

時間	学習内容	発問・言葉かけ
5分	○音楽学習に臨む雰囲気をつくる ・前時を振り返りながら「タやけこやけ」を聴いたり、歌ったりする。	 これからある歌を聴きます。何の歌でしょう。そうです、前回学習した「タやけこやけ」ですね。どんなふうに歌ったか覚えていますか？ ようすをおもいうかべてうたいました。 
15分	○めあてをつかむ ・何を工夫するか、明確にする。 ○曲の音楽的な特徴を感じ取る ・歌詞から、時間の経過を読み取る。 一番（ タがた ） 二番（ よ る ） ・「夕方」「夜」が分かる言葉に線を引く。	 今日は一番と二番の違いを、強さを工夫して歌いましょう。  一番と二番の様子は同じですか？違いますか？どこからそれが分かりますか？ 歌詞を読むと分かると思います。  では、歌詞を声に出して読んでみましょう。 ♪一つ一つ言葉の意味を確認する 一番は夕方で、二番は夜です。  一日のうちのいつを表しているか、そのことが分かる言葉に線を引きましょう。
15分	○思いを持つ ・一人一人に「どんなふうに歌いたいか」思いを持つ。 一番（大きく） 二番（小さく） ○思いを共有し、試行する ・ペアで確認する。 ・みんなで歌って試してみる。	 強さをどんなふうに工夫してみたいですか？ 夢を見ている小鳥が目を覚まさないように、小さく歌った方がいいかな？ 夜は静かな感じだから、二番は一番より小さく歌ったらどうか・・・。 試行の場 ♪歌ってみる ♪聴いてみる  自分の歌声に注意して、ていねいに歌いましょう。
10分	○学習のまとめをする ・みんなで試した歌い方で「タやけこやけ」を歌う。 ♪「様子の違いを思い浮かべて、強さを工夫して歌ってみて、どうでしたか？」と感想をきいてみていいですね。	 では、最後にみんなで一番と二番の様子の違いを思い浮かべて、強さを工夫しながら歌ってみましょう。 二番を小さく歌ってみたら、夜になったことを表せた気がしたよ。 みんなで、強さを工夫して、夕方と夜を表せたことが楽しかったよ。

♪ワークシート①

ようすやきもちに合ったこえでうたおう

ねん 2年 くみ 組 ばん 番

「タやけこやけ」①

一、
タやけこやけで
日がくれて
山の おてらの
かねが なる
おてて つないで
みな かえろ
からすといっしょに
かえりましょう

タやけこやけ
作詞 中村雨紅
作曲 草川信



どんなきもちだとおもいますか？
どうしてそうおもいましたか？（りゅう）

きもちです。りゅうは



どんなこえでうたったら、そのきもちをあらわせますか？

こえでうたいたいです。



ようすやきもちをおもいうかべて、
じぶんがえらんだこえで
うたえましたか？

- 1 うたえた。
- 2 あまりうたえなかった。
- 3 うたえなかった。



♪あてはまるものに○をつけましょう。

♪ワークシート②

つよさをくふうしてうたおう

ねん 2年 くみ 組 ばん 番

「タやけこやけ」②



一ばんは、いつのことをあらわしていますか？



二ばんは、いつのことをあらわしていますか？



一日のうちのいつのことを、あらわしているか、そのことがわかることばにせんをひきましょう。

金 の ほ し	空 に は き ら き ら	見 る こ ろ は	小 鳥 が ゆ め を	お 月 さ ま	ま る い 大 き な	あ と か ら は	子 ど も が か え っ た	か え り ま し ょ う	か ら す と い っ し ょ に	み な か え ろ	お て て つ な い で	か ね が な る	山 の お て ら の	日 が く れ て	一、 タ や け こ や け で
------------------	---------------------------------	-----------------------	----------------------------	------------------	----------------------------	-----------------------	--------------------------------------	---------------------------------	---	-----------------------	---------------------------------	-----------------------	----------------------------	-----------------------	---------------------------------------

タ
や
け
こ
や
け

作 詞 中 村 雨 紅
作 曲 草 川 信

大・中・小

大・中・小

〈りゆう〉

〈りゆう〉



ようすのちがいをおもいうかべて、
大きさのくふうをいしきしてうたえ
ましたか？

- 1 うたえた。
- 2 あまりうたえなかった。
- 3 うたえなかった。



♪あてはまるものに○をつけましょう。

タヤケコヤケ

作詞 中村 雨紅

作曲 草川 信

一、タヤケコヤケで

日が くれて

山の おてらの

かねが なる

おてて つないで

みな かえろ

からすと いっしょに

かえりましょう

二、子どもが かえった

あとからは

まるい 大きな

お月さま

小鳥が ゆめを

見るころは

空には きらきら

金の ほし

♪教材解説シート

題材名 ようすをおもいうかべてうたおう（全1時間予定）

第1時 歌詞の内容を考えて、様子を想像しながら、どのような声で歌いたいのか、思いを持って歌う。

教材名 「はるがきた」

文部省唱歌 高野 辰之（たかの たつゆき）作詞
岡野 貞一（おかの ていいち）作曲

特に伸ばしたい資質・能力

○自分の歌声に関心を持ち、きれいな声やはっきりとした発音で歌うこと

学習指導要領との関連

A表現（1）イ ウ
〔共通事項〕 音色

歌うこと・思いを持つこと・試行の場の到達目標

♪歌詞の表す情景や気持ちを想像して歌うことができる。
♪自分の声に関心を持ち、ていねいに歌うことができる



♪「こう歌いたい」という思いを持つことができる。
♪自分の思いを伝えたり、友達の思いを聴いたりすることができる。



三、	二、	一、	
の山ど鳥	の山ど花	の山どは	は
でもでこが	のにこにが	のにこにが	る
なくなく	さくさく	きたきた	が
なくなく	さくさく	きたきた	き
さどで	さとに	さとに	た
なくなく	さく	きた	は
			る
			が
			き
			た



窓から見える景色に向かって、歌ってみてもいいですね。
遠くの景色に届けるようなイメージで歌ってみましょう。

♪授業展開シート

本時のめあて：ようすをおもいかべ、ようすに合うこえでうたおう

時間	学習内容	発問例・児童の意識
10分	○導入 「はるがきた」の範唱を聴きながらワークシートの歌詞の空欄をうめる。	これから「はるがきた」という曲を聴きます。ワークシートの歌詞には所々空いているところがあります。聴きながら空いているところに聴こえた歌詞を書き込みましょう。 一番は、「何がきた」と歌っていましたか？ 二番は、「何がさく」と歌っていましたか？ 三番は、「何がなく」と歌っていましたか？ 「はるがきた」「はながさく」「とりがなく」と歌っていました。
15分	○めあてをつかむ 「はるがきた」のイメージをつかむ。 ○曲の音楽的な特徴を感じ取る。 - 範唱を聴いて情景を想像する。 - 範唱に合わせて一緒に歌う。 - どんな様子が思い浮かぶかワークシートに記入する。 ようす - ペアで交流。	今日は様子を思い浮かべて、様子に合った声で、「はるがきた」を歌いましょう。 「はるがきた」を聴いてどんな様子を思い浮かべましたか？ 花がたくさん咲いている様子を思い浮かべたよ。 鳥が気持ちよく鳴いている様子を思い浮かべました。 様子を思い浮かべながら歌ってみましょう。
15分	○思いを持つ - どんなふうに歌いたいか思いを持つ。 こえ ○思いを共有し試行する - ペアで交流 - いくつかの歌い方をみんなで試してみる。	みなさんが思い浮かべた様子に合う歌声は、どんなこえでしょう。 花が咲いている様子に合うのは、怒鳴り声ではないよね。 鳥が気持ちよく鳴いている様子には、きれいな声が合うかな。 試行の場 ♪歌ってみる ♪聴いてみる ♪クラスを半分に分けて、聴き合う。
5分	○まとめ みんなで試した歌い方で「はるがきた」を歌う。 ♪「様子を思い浮かべて遠くの山に届くように歌えたかな？」と具体的な内容で問いかけましょう。	では、最後にみんなで様子を思い浮かべながら、遠くの山に届くような声で「はるがきた」を歌ってみましょう。 山で鳴いている鳥に届くような声で歌ってみたよ。

♪ワークシート

ようすをおもいうかべ、ようすに合うこえでうたおう

ねん 2年 くみ 組 ばん 番

「はるがきた」

三、	二、	一、	はるがきた 文部省唱歌 作詞 高野辰之 作曲 岡野貞一
() () どこでなく () () () なく () () () なく () () () なく ()	() () どこにさく () () () にさく () () () にさく () () () にさく ()	() () どこにきた () () () にきた () () () にきた () () () にきた ()	
() () なく () () () なく () () () なく () () () なく ()	() () なく () () () なく () () () なく () () () なく ()	() () なく () () () なく () () () なく () () () なく ()	
() () なく () () () なく () () () なく () () () なく ()	() () なく () () () なく () () () なく () () () なく ()	() () なく () () () なく () () () なく () () () なく ()	



どんなようすをおもいうかべましたか？

ようす



どんなこえでうたったら、そのきもちをあらわせますか？

こえでうたいたいです。



ようすを、おもいうかべてようすに合うこえで、うたえましたか？

- 1 うたえた。
- 2 あまりうたえなかった。
- 3 うたえなかった。



♪あてはまるものに○をつけましょう。

はるがきた

文部省唱歌

作詞 高野辰之

作曲 岡野貞一

一、 はるが きた はるが きた
どこに きた
山に きた ちとに きた
のにも きた

二、 花が さく 花が さく
どこに さく
山に さく ちとに さく
のにも さく

三、 鳥が なく 鳥が なく
どこで なく
山で なく ちとで なく
のでも なく

音楽科学習指導案（2年〇組）

1 題材名 ようすをおもいうかべてうたおう

教材名 歌唱共通教材 「虫のこえ」 文部省唱歌

2 考察

(1) 本題材に関わる児童の実態（男子11名、女子10名、計21名）

- ・ほとんどの児童が元気に楽しく歌っている。「どんな気持ちかな?」「どんな感じかな?」とこちらから問いかけることで、楽曲の気分を感じ取ったり、歌詞の意味を考えたりしながら歌おうとする姿が見られるようになってきた。(関)
- ・児童は今年度学習した「かくれんぼ」の問いと答えの部分について、強弱を工夫することを学んでいる。また「夕やけこやけ」では、歌詞全体から様子や気持ちを想像し、そのことを基にして強弱を工夫し、一人一人がどう歌いたいかという思いを持って表現することを経験した。(創)
- ・友達と一緒に声を合わせて歌う活動に意欲的であるが、必要以上に大きな声で歌ってしまう児童も見られる。また、友達の歌声や伴奏に合わせて歌うことについては、無意識に合わせている様子が見られ、意識して合わせている様子はあまり見られない。(技)

(2) 題材観

- ・本題材は以下の学習指導要領第1学年及び第2学年の内容によるものである。

A 表現(1)イ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。

エ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。

〔共通事項〕 強弱、問いと答え

- ・本題材では、明治43年（1910年）発行の『尋常小学読本唱歌』に発表されて以来、その時々の子どもたちに愛され歌い継がれてきた「虫のこえ」を取り上げる。歌詞の内容から、秋の夜、草むらで鳴いている虫の、いろいろな鳴き声に関心を持って、情景を思い浮かべながら歌うことを目指すものである。特に伸ばしたい資質能力は、様子を思い浮かべ、強さの工夫をすること、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことである。
- ・「虫のこえ」は秋の夜、様々な虫たちがそれぞれの鳴き声で鳴いている様子を歌った曲である。虫の鳴き声を表した擬声語から、虫の鳴いている様子を想像し、表現の工夫を楽しむことができる。曲が前半「擬声語」「擬声語以外の部分」、後半「あきのよながを・・・」で構成されており、児童に強弱の工夫をさせる際に楽曲を大きく三つに分けて考えることができる。後半「ああおもしろい」の部分が曲の山になっているので、自然に気持ちが盛り上がり、強弱の工夫をしやすい構成になっている。また、虫の鳴き声を表す歌詞の、様々な擬声語を楽しみながら、声を合わせて歌うことを意識させるのにも適した曲である。
- ・児童はこれまでの音楽活動を通して、友達と楽しく遊び歌を歌ったり、2拍子や3拍子など拍のまとまりを感じながら歌ったりしてきた。本題材の学習は今後、楽曲に取り組む時に、様子や気持ちを思い浮かべながら歌ったり、聴いたりすること、様子や気持ちに合わせて強弱の工夫をすること、さらに表現をする際に、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌うことにつながっていく。

(3) 指導方針

- 児童が楽曲から感じ取ったことを基に、思考・判断・表現できるように、「どういう様子かな?」「どうしてそう思ったの?」と投げかけたり、感じたことを基に「どう表現したいか」を必ず問いかけたりするようにする。
- 「虫のこえ」の様子をつかむことができるように、ICTを活用し、虫の写真を見せたり、本物の虫の

鳴き声を聴かせたりする。

- 一人一人が持った思いを、より明確にしたり、別の考え方に気付いたりできるようにするために、ペア活動を取り入れ、お互いの意見を交流する（展開では「伝え合う」場面を設ける）。
- 思いを共有し学級全体で試行する場面では、客観的に聴く力を育てるために、歌うグループと聴くグループに分けて聴き合うようにする。

3 題材の目標

歌詞の表す様子を想像して身近な虫の鳴き声の違いを感じ取り、表現を工夫し、思いを持って歌うことができる。

4 評価規準及び指導の計画概要（全2時間予定）

評価規準	音楽への関心・意欲・態度		歌詞の表す様子を想像し、思いを持って歌う学習に進んで取り組もうとしている。			
	音楽表現の創意工夫		歌詞の表す様子を想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりして表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願いを持っている。			
	音楽表現の技能		友達の歌声を聴きながら、自分の声を合わせて歌っている。			
過程	時	主な学習活動	評価			
			◇評価項目（評価方法）	関	創	技
第一次	1	○範唱を聴き、虫の名前を覚えたり、虫の鳴き声の違いを感じ取ったりしながら歌う。	◇虫たちが鳴いている様子を想像し、思いを持って歌う学習に進んで取り組もうとしている。	○		
		○虫たちが鳴いている様子を想像し、一人一人が思いを持ち、様子に合わせて強弱の工夫をする。 ○虫たちが鳴いている様子を想像し、様子に合わせて考えた、個々の工夫を、学級全体で共有し、試行する。	◇虫たちが鳴いている様子を想像して、強弱を工夫し、どのように歌うかについて思いを持っている。 (演奏聴取) * 授業モデルプラン2年 No.2-①			
第三次	2	○グループごとに、一つの虫の鳴き声を担当し、みんなで虫の様子を想像して強弱を考え、発表する。 ○それぞれのグループで考えた、虫の様子や強弱を、学級全体で共有し、友達の歌声を聴きながら、自分の声を合わせて歌う。	◇様子に合わせた表現で、友達の歌声を聴きながら、自分の声を合わせて歌っている。 (演奏聴取) * 授業モデルプラン2年 No.2-②			○

5 本時の展開（１／２）

(1) **ねらい** 歌詞の表す様子を想像して、強さを工夫することができるようにする。

(2) **準備** 教師：実物投影機、本物の虫の鳴き声のデータ、拡大した歌詞、ワークシート、
大・中・小カード

(3) 展開

学 習 活 動 ・予想する児童の意識	時間 (分)	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は「努力を要する」状況の児童への支援)
1 音楽学習に臨む楽しい雰囲気をつくる。 ○教科書41ページの虫の写真を見ながら、本物の虫の鳴き声を聴き、それぞれの虫がどんな声で鳴くのかを知る。 ・聴いたことあるよ。 ・いろいろな虫がいるね。 ○虫の鳴き声の大きさは同じかどうか考える。 ・いろいろな鳴き声があるから、大きさもいろいろあると思うな・・・。 ・遠くで鳴いていたり、近くで鳴いていたりするから、大きさも違うと思うよ。	8	○何の虫の声かクイズ形式を取り入れ、虫の鳴き声に集中して聴けるようにする。 ○大きさについて考えることで、本時のめあてを捉えやすくする、
2 本時のめあてをつかむ。 ようすを思いうかべて、つよさをくふうしよう ・いろいろな虫が、それぞれの声で鳴いている様子を思い浮かべて、強さを工夫して歌うんだね。	2	○工夫の観点を明確にする。
3 「虫のこえ」の曲の感じをつかむ。 ○教科書41ページの虫の写真を指さしながら範唱を聴く。 ・少しずつ虫の名前を覚えてよ。 ○範唱に合わせて、虫の名前をリズム打ちする。 ・「うまおい」のリズムはおもしろいな。 ○歌詞の中に出てくる虫の鳴き声を確認する。 ・かわいい鳴き声やおもしろい鳴き声、いろいろな鳴き声があるんだね。 ○歌詞の内容（季節や時間帯等）を考えながら音読する。 先生「虫の声を聴いている人」 児童「虫の鳴き声」 みんなで「あきのよながを～虫の声」 上記のように分担して音読する。 ○分担して音読した虫の鳴き声を、範唱に合わせて歌う。	10	○児童が意識できるように「虫たちが鳴いている様子を思い浮かべながら聴きましょう。」と言葉がけする。 ◎教科書の虫の写真を指さすことで、それぞれの虫をイメージできるようにする。 ○範唱に合わせてリズム打ちすることで、「うまおい」など難しいリズムも、正しく歌えるようにする。 ◎虫の名前と虫の鳴き声を併せて板書することで、視覚的にも捉えられるようにする。 ○歌詞が表す様子を想像できるように、音読しながら、言葉の意味を確認したり、問いと答えに気付かせたりする。 ○音読の際に分担を確認することで、この後の交互唱をスムーズに行えるようにする。
4 一人一人が思いを持ち、様子に合わせて虫の鳴き声の強さの工夫をする。		

○「虫の鳴き声」の大きさを、大・中・小、それぞれのパターンで歌ってみる。 ○「虫の鳴き声」を「どの強さで歌いたいかな」選択する。また、なぜその大きさを選んだのか、どんな様子を思い浮かべたのか、その理由も考えワークシートに記入し、ペアで伝え合い試行する。 ・大きく歌いたいのは、虫たちが仲間を呼んでいるからだよ。 ・みんなに見つからないように小さく歌いたいな・・・。	20	○強弱のとらえ方は、児童の実態に即して、大・中・小で表すこととする。 ◎虫たちが鳴いてる様子を想像しやすいように、以下のように指導者が例を示すようにする。 例：虫の鳴き声を小さく歌って見せ「今の大きさは、大・中・小どれでしょう？」と問いかける。そして、「いま鳴いていた虫の様子は、『元気いっぱい虫さん達』『みんなに見つからないようにこっそり鳴いている虫さん達』どちらでしょう？」
〈ねらいを達成した児童の意識〉 A：ぼくは、虫が鳴いているのは夜だから、寝ている人を起こさないように、中くらいの大きさを歌いたいな。 B：なるほど・・・。 A：そこは中くらいの大きさを歌ってみるから聴いていてね。 B：うん。（そこを注意して聴こう） ○虫の鳴き声の大きさ、「大・中・小」を、「その大きさにした理由」や「思い浮かべた様子」を確認しながら、学級全体で歌って試してみる。 ・自分が決めた大きさとは違うけど、歌ってみたら「これもいいかもしれない」と感じたよ。		○一人一人の思いをペアで伝え合うことでお互いの考えを交流し、強弱について工夫することを共有できるようにする。 ○試行の際、「虫の鳴き声を聴いている人」「虫の鳴き声」を交互唱し、「あきのよなが～虫のこえ」は二人で歌う。 ◇虫たちが鳴いている様子を想像し、思いを持って歌う学習に進んで取り組もうとしている。 （表情観察）【関】 ◇虫たちが鳴いている様子を想像して、強弱を工夫し、どのように歌うかについて思いを持っている。 （演奏聴取）【創】 ○それぞれの大きさを試す際には、どんな様子を思い浮かべて歌うか確認し、大きさと様子を関連させて考えられるようにする。 ○それぞれの大きさを歌って試すことで、自分の考えとは違う大きさのよさに、気付くことができるようにする。
5 本時のまとめをする。 ○本時のめあてを改めて確認して、虫たちが鳴いている様子を思い浮かべ、様子に合った大きさを「虫のこえ」を歌う。 ・虫たちが楽しそうに鳴いている様子を思い浮かべながら、虫の鳴き声は中くらいの大きさがいいなと思ったよ。 ○ワークシートに自己評価を記入する。	5	○歌う前に「どんな様子を思い浮かべて歌いますか？」「どんな大きさを歌いますか？」と確認し、歌い終わったら、本時の学習の成果を実感することができるように、虫たちが鳴いている様子を想像し、強さを工夫して歌えたことを称賛する。

5 本時の展開（2／2）

(1) **ねらい** 歌詞の表す様子を想像し、友達の歌声を聴きながら自分の声を合わせて歌うことができるようにする。

(2) **準備** 教師：本物の虫の鳴き声のデータ、拡大した歌詞、ワークシート、大・中・小カード

(3) 展開

学 習 活 動 ・ 予想する児童の意識	時間 (分)	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は「努力を要する」状況の児童への支援)
1 音楽学習に臨む楽しい雰囲気を作る。 ○虫たちが鳴いている様子を想像し、前時の学習を振り返りながら、自分が選んだ、様子に合った大きさに「虫のこえ」を歌う。	5	○前時の学習を想起させて、歌う前に「どんな様子を思い浮かべて歌いますか?」「どんな大きさを歌いますか?」と確認する。
2 本時のめあてをつかむ。 こえを合わせて、2年○組の「虫のこえ」をうたおう ・強さの工夫だけではなくて、みんなで声を合わせて歌うことに気を付けるんだね。	5	○前時の強弱の工夫を生かし、本時では「みんなで虫の鳴き声の強さを考えて『2年○組の虫のこえ』をみんなで声を合わせて歌おう。」と呼びかけることで、児童の意欲を高めるようにする。
3 みんなで虫の鳴き声の強さを考えた「2年○組の虫のこえ」を、友達の歌声を聴きながら、自分の声を合わせて歌う。 ○グループごとに、一つの虫の鳴き声を担当し、グループのみんなで虫の様子を想像して強弱を考え、発表する。 ○それぞれのグループで考えた虫の様子や強弱を、学級全体で共有し、友達の歌声を聴きながら、自分の声を合わせて歌う。 ○みんなで声を合わせて歌うためには、どんなことに気を付けたらいいか考える。 ・みんなの声をよく聴くようにすることが大切だね。 〈ねらいを達成した児童の意識〉 ・大きな声で歌う時も、小さな声で歌う時も、周りの友達の声をよく聴きながら合わせようと意識して歌ったよ。	25	○グループ編成については、児童に自由に虫を選ばせたり、生活班などの既存のグループにくじを引かせて虫を割り当てたりするなど、学級の実態に合わせるようにする。 ○グループごとに話し合う時には、担当した虫はどんな虫なのか? 鳴き声はどの大きさを歌うのか? の二つにポイントをしぼる。 例 元気いっぱいの くつわ虫 です。 鳴き声の「ガチャガチャガチャガチャ」は 大きな声 で歌ってください。 ○目を閉じて歌ってみることで、声を合わせるには、よく聴くことが大切であることに気付くことができるようにする。 ◇様子に合わせた表現で、友達の歌声を聴きながら、自分の声を合わせて歌っている。 (演奏聴取)【技】
4 本時のまとめをする。 ○本時のめあてを改めて確認し、みんなで声を合わせて歌う。 ・みんなで声を合わせて歌うと、楽しいな。 ○ワークシートに自己評価を記入する。	10	○歌い終わった後に「友達の声をよく聴きながら、みんなで声を合わせて歌ってみてどうだった?」と問いかけ、本時の学習の成果を実感することができるようにする。

板書計画

「虫のこえ」(1/2)

P 4 0 ・ 4 1「虫のこえ」

めあて

ようすをおもいうかべて、つよさをくふうしよう

大

中

小

まつ虫「チンチロチンチロチンチロリン」

すず虫「リンリンリンリンリーンリン」

・

・

・

・

大

なかまをよんでいる

・

中

ねている人をおこさないように

・

小

見つからないように

「虫のこえ」

一

あれまつ虫がいない

いる

「チンチロチンチロチンチロリン」

あれすず虫もなき出した

「リンリンリンリンリーンリン」

二

「キリキリキリキリ」こおろぎや

「ガチャガチャガチャガチャ」

くつわ虫

あとからうまおいおいついて

「チョンチョンスイツチョン」

あきのよながをなきとおす

ああおもしろい虫のこえ

あきのよながをなきとおす

ああおもしろい虫のこえ

「虫のこえ」(2/2)

P 4 0 ・ 4 1「虫のこえ」

めあて

声を合わせて、2年〇組の「虫のこえ」をうたおう

中

大

小

小

まつ虫

すず虫

こおろぎ

くつわ虫

うまおい

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

元気いっぱい

声を合わせるには

友だちの声をよくきくことがたいせつ。

「虫のこえ」

一

あれまつ虫がいない

いる

「チンチロチンチロチンチロリン」

あれすず虫もなき出した

「リンリンリンリンリーンリン」

二

「キリキリキリキリ」こおろぎや

「ガチャガチャガチャガチャ」

くつわ虫

あとからうまおいおいついて

「チョンチョンスイツチョン」

あきのよながをなきとおす

ああおもしろい虫のこえ

あきのよながをなきとおす

ああおもしろい虫のこえ

- 資料49 -

音楽科学習指導案（2年〇組）

1 題材名 ようすをおもいうかべてうたおう

教材名 歌唱共通教材 「夕やけこやけ」 中村雨紅 作詞／草川信 作曲

2 考察

(1) 本題材に関わる児童の実態（男子11名、女子10名、計21名）

- ・ほとんどの児童が元気に楽しく歌っているが、楽曲の気分を感じ取ったり、歌詞の意味を考えたりしながら歌おうとしている児童は少ない。（関）
- ・児童は「かくれんぼ」の問いと答えの部分について、強弱を工夫することを学んでいるが、歌詞全体から様子を読み取り、強弱を工夫するのは初めてである。また、楽曲の気分を感じ取り、どう歌いたいかという思いを持つことについての経験は少ない。（創）
- ・事前のアンケートでは、ほとんどの児童が「きれいなこえでうたおうとしている」と答えているが、か細い声がきれいな声だと思っている児童、きれいな声を出そうとして、音程が外れてしまっている児童も数名見られる。（技）

(2) 題材観

- ・本題材は以下の学習指導要領第1学年及び第2学年の内容によるものである。

A 表現 (1) イ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。

ウ 自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと。

〔共通事項〕 音色、強弱

- ・本題材では、日本で長く歌い継がれ、親しまれてきた「夕やけこやけ」を取り上げる。歌詞が表している情景を思い浮かべながら歌うことを目指すものである。特に伸ばしたい資質能力は、様子や気持ちを思い浮かべて、声の感じや強さを工夫して歌うことである。
- ・「夕やけこやけ」は美しい夕やけや夜空を歌った曲である。児童にとっては、日常生活の中で夕やけを見た経験を生かして、その情景を思い浮かべながら歌いやすい内容となっている。一番は夕方、二番は夜の情景が歌われている。この時間の経過に気付き、一番と二番の強弱を変えて歌い方を工夫することができる。
- ・児童はこれまでの音楽活動を通して、友達と楽しく遊び歌を歌ったり、2拍子や3拍子など拍のまとまりを感じながら歌ったりしてきた。本題材の学習は今後、楽曲に取り組む時に、様子や気持ちを思い浮かべながら歌ったり、聴いたりすることにつながる。

(3) 指導方針

- ・児童が楽曲から感じ取ったことを基に、思考・判断・表現できるように、「どういう気持ちになる？」「それはどうして？」と投げかけたり、そして、感じたことを基に「どう表現したいか」を必ず問いかけたりするようにする。
- ・一人一人が持った思いをより明確にしたり、別の考え方に気付いたりするために、ペア活動を取り入れ、お互いの意見を交流する（展開では「伝え合う」）場面を設ける。
- ・思いを共有し学級全体で試行する場面では、客観的に聴く力を育てるために、歌うグループと聴くグループに分けて聴き合うようにする。

3 題材の目標

楽曲の気分を感じ取りながら、歌詞の表す様子や気持ちを想像して表現を工夫し、思いを持って歌うことができる。

4 評価規準及び指導の計画概要（全2時間予定）

評価規準	音楽への関心・意欲・態度		歌詞の表す様子や気持ちを想像し、思いを持って歌う学習に進んで取り組もうとしている。				
	音楽表現の創意工夫		歌詞の表す様子や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりして表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや思いを持っている。				
	音楽表現の技能		歌詞の表す様子や気持ち、楽曲の気分にあった表現で歌っている。				
過程	時	主な学習活動	評価				
			◇評価項目（評価方法）	関	創	技	鑑
第一次	1	○範唱を聴き、歌詞の表す様子や気持ちを想像して、楽曲の気分を感じ取って歌う。 ○歌詞の内容を考えて、様子や気持ちを想像しながら、どのように歌いたいか思いを持って歌う。	◇歌詞の表す様子や気持ちを想像して、思いを持って歌う学習に進んで取り組もうとしている。 （表情観察） * 授業モデルプラン2年 No.3-①	○			
第二次	2	○一番と二番の歌詞が表している、時間の経過や様子の違いに気付き、それらにふさわしい強弱の工夫を考えて歌う。 ○「夕やけこやけ」の楽曲の気分にあふさわしい表現を、自分の歌声に気を付けて歌う。	◇歌詞の表す様子や気持ちを想像して、声の出し方、強弱を工夫し、どのように歌うかについて思いを持っている。 （演奏聴取） ◇自分の歌声に注意して、ていねいに歌っている。 （演奏聴取） * 授業モデルプラン2年 No.3-②		○		
第三次						○	

5 本時の展開（１／２）

(1) **ねらい** 歌詞の表す様子や気持ちを想像し、思いを持って歌おうとしている。

(2) **準備** ワークシート、拡大した歌詞

(3) **展開**

学 習 活 動 ・予想する児童の意識	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は「努力を要する」状況の児童への支援)
1 音楽学習に臨む楽しい雰囲気を作る。 ○「夕やけこやけ」の一番を聴く。 ・「夕やけ」とか「からす」が出てきたよ。	5分	○言葉に集中して聴けるように、目を閉じて聴くように促す。
2 本時のめあてをつかむ。		
ようすやきもちに合った声でうたおう		
○範唱を聴きながら歌う。 ・頭の中に様子を思い浮かべながら、歌ってみよう。空は何色かな？	5分	◎「様子を思い浮かべる」ことが難しい児童には「夕やけの空は何色かな？」等問いかけ、一つ一つ様子を思い浮かべられるようにする。
3 「夕やけこやけ」の音楽的な特徴を感じ取る。 ○一番の歌詞の様子や気持ちを想像し、それはどうしてかを考え、ワークシートに記入し、ペアで伝え合う。 ・ちょっとさびしい気持ちかな？ だって、まだ遊びたいけど、家に帰らないといけないから…。 ・○○ちゃんと同じだったな。 ・○○くんはそう感じたんだ。	10分	○どんな様子や気持ちかを想像しやすいように、実際に手をつないだり、一番の歌詞の内容に合わせてたりした活動を取り入れる。 ○ペアでお互いの考えを伝え合うことで、「～な気持ち」の理由をうまく表現できない児童も自分の考えを伝えやすいようにしていく。
4 学級としての思いを生かした「夕やけこやけ」をつくる。 ○「どんな声で歌いたいかな」思いを持ち、ワークシートに記入し、ペアで伝え合う。 ・きれいな声で歌いたいな。 ・怒鳴らない方がいいよ。 ○学級としての歌い方を決め、様子や気持ちを想像しながら歌う。	15分	○声についてイメージしやすいように、「こんな声かな？」等、いくつかの歌い方を例示する。 ○「様子や気持ちを想像して歌っているかな？」と問いかけることで、常に様子や気持ちを想像して歌うことを意識できるようにする。
〈ねらいを達成した児童の意識〉 ・夕やけの色を思い浮かべて、きれいな声で歌いたいな。 ・目を閉じて、様子を思い浮かべながら歌ってみようかな？		◇歌詞の表す様子や気持ちを想像して、思いを持って歌う学習に進んで取り組もうとしている。 (表情観察)【関】
5 本時のまとめをする。 ○様子や気持ちを想像しながら「夕やけこやけ」を歌う。 ・オレンジ色の空を思い浮かべながら歌ったよ。 ・怒鳴らないで歌えたよ。 ○ワークシートに自己評価を記入する。	10分	○本時の学習の成果を実感することができるように、様子や気持ちを想像しながら歌おうとしたことを称賛する。

5 本時の展開（2／2）

(1) **ねらい** 歌詞の表す様子を想像して、強弱を工夫して歌うことができる。

(2) **準備** ワークシート、拡大した歌詞

(3) **展開**

学 習 活 動 ・予想する児童の意識	時間	支援及び指導上の留意点・評価 (◇は評価、◎は「努力を要する」状況の児童への支援)
1 音楽学習に臨む楽しい雰囲気を作る。 ○「夕やけこやけ」を聴く。 ・この間、様子を思い浮かべて歌った歌だ。 ・みんなで声を合わせて歌ったよ。	5分	○どんなふうに歌ったかを問い掛け、前時に様子や気持ちを想像して歌ったことを想起できるようにする。
2 本時のめあてをつかむ。		
つよさををくふうしてうたおう		
・どんなふうに様子が違うのかな？ ・強さを工夫するんだな。	5分	○工夫の観点を明確にする。
3 「夕やけこやけ」の一番と二番の様子の違いを感じ取る。 ○歌詞から時間の経過を読み取り、一番、二番はいつの時間帯を表しているのかワークシートに記入する。 ○そのことがわかる言葉に線を引く。 ・「夕やけ」だから夕方だね。 ・「お月さま」だから夜かな。	10分	○歌詞から様子の違いを感じ取れることを、児童の発言から引き出すようにする。 ◎歌詞が表す様子を想像できるように、全体で音読しながら、言葉の意味を確認する。
4 一人一人の思いを持ち、学級としての思いを生かした「夕やけこやけ」をつくる。 ○「どんな工夫をしたいか」思いを持ち、ワークシートに記入し、ペアで伝え合う。	15分	○一人一人の思いをペアや学級全体で伝え合うことでお互いの考えを交流し、強弱について工夫することを共有できるようにする。 ○「様子を思い浮かべて、強さを工夫して歌っているかな？」と言葉がけをすることで、常に様子を思い浮かべるとともに、強弱を工夫することを意識できるようにする。
〈ねらいを達成した児童の意識〉 A：ぼくは、二番が一番より小さく歌いたいな。 B：どうして？ A：寝ている小鳥を起こさないようにしたいから。 B：なるほど…。 ○学級としての歌い方を決め、友達の声や伴奏を聴いて、様子を思い浮かべながら、自分の歌声に注意し、ていねいに歌う。 〈ねらいを達成した児童の意識〉 ・強すぎて怒鳴ってしまうと夕方の感じが出ないから気を付けよう。 ・夜の感じが出せるように、小さくてやさしい声で歌おう。		◇歌詞の表す様子や気持ちを想像して、声の出し方、強弱を工夫し、どのように歌うかについて思いを持っている。 (演奏聴取)【創】 ◇自分の歌声に注意して、ていねいに歌っている。 (演奏聴取)【技】
5 本時のまとめをする。 ○みんなで工夫した歌い方で、様子を想像しながら「夕やけこやけ」を歌う。 ・二番を小さく歌って見たら、夜になったことを表せた気がしたよ。 ・みんなで強さを工夫して、夕方と夜を表せたことが楽しかったよ。 ○ワークシートに自己評価を記入する。	10分	○本時の学習の成果を実感することができるように、一番と二番の様子の違いを、強さを工夫して歌えたことを称賛する。

「夕やけこやけ」①

板書計画

P 4 3 ・ 4 4 「夕やけこやけ」

めあて ようすやきもちに合ったこえでうたおう

どんなきもち

どうして

どんなこえでうたいたい

一
夕やけこやけ
夕やけこやけで
日がくれて
山の おてらの
かねがなる
おてて つないで
みな かえろ
からすと いっしょに
かえりましょう

「夕やけこやけ」②

板書計画

P 4 3 ・ 4 4 「夕やけこやけ」

めあて ようすのちがいを、つよさをくふうしてうたおう

よる

二

ゆうがた

一

夕
や
け
こ
や
け

大・中・小

大・中・小